

186 わかりやすい！第6類消防設備士試験 新訂第1版 正誤表

本書の掲載内容に下記の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。  
初版時からの訂正を載せております。お手持ちの本では修正されているものもございます。

頁	箇所	誤	正
24	下から3行目	・・・ $h = 3$ となり、	・・・ $n = 3$ となり、
51	問題23	p.50の問題19と重複しておりました。削除してください。	
52	1行目	p.31	p.32
55	下から4行目	20の図・・・	27の図・・・
68	4行目	11の1	12の1
74	例題 解説	特別支援学校は、6項ニの非特定防火対象物であり、表の(b)に該当するので、…かつ、…でなければ届出義務はありません。	特別支援学校は、6項ニの <b>特定防火対象物</b> であり、表の(a)に該当するので、延べ面積が <b>300㎡以上</b> でなければ届出義務はありません。
105	問題28(4)	・・・であっても、消防長・・・	・・・であっても、 <b>延べ面積が1000㎡以上でかつ</b> 、消防長・・・
126	上から3行目	p.293 参照	p.348 参照
127	例題(1)	第2類危険物の引火性 <b>液体</b>	第2類危険物の引火性 <b>固体</b>
129	問題3(2)	<b>カラオケボックス</b>	<b>博物館</b>
	解説3, 4行目	(2)の <b>カラオケボックス</b> はp118の①の <b>グループ</b> (延べ面積に関係なく設置する <b>グループ</b> ⇒問題1参照)に属するので、これが誤りです。	(2)の <b>博物館</b> はP119の③の <b>グループ(300㎡以上の場合に設置するグループ</b> ⇒問題2参照)に属するので、これが誤りです。
130	問題5(3)	・・・290㎡のもの	・・・110㎡のもの
147	下から4行目	<b>4</b>	<b>3</b>
156	枠の最終行	p.247の(12)	p.249の(14)
157	下から10行	・・・安全弁⇒ <b>現在では</b> 二酸化炭素消火器と化学泡消火器のみ使用されている。	・・・安全弁⇒二酸化炭素消火器と化学泡消火器 <b>及びハロン1301消火器</b> に使用されている。
161	下から3行目	p.246②	p.245
168	表中A 棒状 抑制		○
183	2～3行目	強化液の <b>霧状</b> 以外・・・	強化液以外・・・
193	12行目(頁中央)	・・・質量 <b>や</b> 指示圧力値等・・・	・・・質量等・・・
199	上から4行目	・・・①から⑩までの	・・・①から⑩までの
205	図4-13右上	p.273の写真参照	p.291の写真参照
206	下から2行目	p.208	p.207
213	【問題7】	次のうち正しい <b>組み合わせ</b> は・・・	次のうち正しい <b>もの</b> は・・・
222	下から6行目	すが、容器弁付 <b>気</b> の・・・	すが、容器弁付の・・・
234	④2行目	p.150	p.159
257	10行目～	・・・ガス加圧式粉末消火器 <b>のみに</b> ・・・	・・・ガス加圧式粉末消火器などに・・・
258	【問題15】(3)	選択肢を入れ替え	<b>大型化学泡消火器には、開口部に設ける。</b>
266	2行目	(1)加圧用ガス容器は・・・	(1)内容積が <b>100㎡を超える</b> 加圧用ガス容器は・・・
267	【問題27】解説	p.247	p.248
271	下から7行目	p.247	p.248
272	【問題4】選択肢	(2)これらの消火器のうち、 <b>充てんされ</b>	(2)これらの消火器のうち、 <b>薬剤量をリッ</b>

		た消火薬剤量を容量のみで表示しているものはどれか。	トル (L) で表示されているものを記号で答えよ。
273	【問題4】解答	(2) 容量表示のみの消火器 化学泡消火器・・・となっています)	(2) リットル表示の消火器 A, B, C (水系消火器が該当します。)
282	表下から3行目	*の注	(*p.162②、 p.164 の*3を参照)
283	表中3行目	p.246	p.245
314	問10 解答 通信機器室	A,D,E(水系はNGだが、強化液は霧状だと適応する)	A,B,C,E (二酸化炭素はNG)
	問10 解説	事務室、ボイラー室、飲食店は「建築物その他の工作物」になるので、普通火災に適応する消火器でよく、また電気室ははじめ通信機器室などは電気火災に適応する消火器を選定します(注：強化液消火器は霧状にすると電気火災に適応します。))。	事務室、ボイラー室、飲食店、通信機器室は「建築物その他の工作物」になるので、普通火災に適応する消火器でよく、また電気室は電気火災に適応する消火器を選定します(注：強化液消火器は霧状にすると電気火災に適応します。))。